

ガン、糖尿病、肥満、老化、感染症などを標的とする 「経口メチオニナーゼ」の特許が許可されました。

サンディエゴ- (BUSINESSWIRE) -より
(March 29, 2021 06:00 AM Eastern Daylight Time)

AntiCancer Inc. (以下、アンチキャンサー社) は、経口メチオニナーゼに関する特許出願が米国特許商標庁 (USPTO) によって許可されたことを発表しました。

前臨床試験における経口メチオニナーゼは、すべての種類のガン、糖尿病、肥満、脂肪肝に対して有効性を示しています。また Covid-19 に対しても有効性があると予測されています。これらの病気はすべて異常に大量のアミノ酸「メチオニン」を必要とします。そして経口メチオニナーゼは体内のメチオニンを制限することにより、これらの病気に対して作用します。

「メチオニナーゼは経口摂取できるので安全です」と、アンチキャンサー社の経口メチオニナーゼ開発責任者で新しい特許の発明者である QinghongHan 博士は述べています。

「経口メチオニナーゼは、消化管内のメチオニンを大幅に制限することによって作用します。ガン、糖尿病、Covid-19 などの病気に対して有効であるため、商業的に大きな可能性を秘めています。これらはすべて大量のメチオニンを必要とするからです。また、更にエキサイティングなことに、経口メチオニナーゼは老化を抑制する可能性があります。」

アンチキャンサー社は、メチオニナーゼを商品化し新たな市場を生み出すために、完全子会社として、Methuselah Pharmaceuticals LLC 社 (以下、メトセラ社) を分離独立させました。「この新しい特許によってアンチキャンサー社とメトセラ社は (メチオニン制限療法、メチオニン制限ダイエット、メチオニン抗老化、という) 新市場を創造・開拓することができるようになります」と Han 博士は述べています。

【アンチキャンサー社について】

アンチキャンサー社は、ガン患者に最もよく似た、患者由来の同所性異種移植 (PDOX) マウスモデルも独自に提供しています。また抗ガン剤の発見と評価のための HDRA3 次元腫瘍培養装置も提供しています。更に腫瘍を標的とする細菌や、再生医療用のニューロン由来・他細胞由来の多能性毛包幹細胞も開発しています。そして、腫瘍特異的な蛍光誘導外科手術を開発した先駆的企業でもあります。

アンチキャンサー社はサンディエゴに拠点を置き、東京、北京、ソウル、南京に子会社を持っています。

【問い合わせ先】 一般社団法人日本先進医療臨床研究会

TEL : 03-5542-1597 [メール : info@jscsf.org](mailto:info@jscsf.org) HP : <https://jscsf.org>
103-0028 東京都中央区八重洲 1 - 8 - 1 6 新槇町ビル 6 F